

## 普及活動情勢報告（令和 5 年 6 月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

### 今年の活動はどうする？

### ・・・宿毛 4H クラブ 定例会・・・



5 月 29 日、宿毛市役所で宿毛 4H クラブの第一回定例会が開催され、クラブ員 7 名、関係機関職員 3 名が参加しました。

会では、事務局を持つ農業改良普及課から、令和 5 年度の事業計画及び役員体制について報告し、その後クラブ員と関係機関職員で事業計画について協議しました。

その結果、昨年度まではコロナ禍行えなかったイベント等について、状況をみて開催することに決定しました。

今後も、宿毛 4H クラブの事務局として、各関係機関との調整やイベント時の支援を行っていきます。

### 出荷開始を前に栽培管理確認

### ・・・JA 西土佐支所米ナス部会現地検討会（露地栽培）・・・



6 月 9 日、西土佐支所米ナス部会の現地検討会が行われ、露地栽培農家 8 人が参加しました。

検討会では、各生産者のほ場 10 ヶ所を巡回し、各ほ場で生育状況の確認や今後の管理について質問や意見交換が行われました。

農業改良普及課からは、病虫害防除指導、簡易雨よけ施設導入に係る補助事業について説明を行い、事業の活用を呼びかけました。

今後も JA 北幡営農センターと連携して、米ナスの振興に取り組めます。

### 幡多地域全体で新規就農者の確保を！

### ・・・新規就農者支援ネットワーク協議会・・・



6 月 12 日、あぐりっこ研修センターで、新規就農者支援ネットワーク協議会を開催し、幡多地域 6 市町村及び JA の担い手関係担当者 27 名が参加しました。

農業改良普及課からは、幡多地域の 6 市町村全体での農業研修生の受け入れ体制について説明をしました。

また各市町村の新規就農者の状況や支援策の内容について情報共有するなど、活発な意見交換が行われました。

農業改良普及課では、今後も市町村の意見交換の場を設け、幡多地域での新規就農者確保に向けた取り組みを支援します。

## 田植え体験！

## ・・・具同小学校食農教育授業・・・



6月13日、四万十市入田の14aの水田で、具同小学校5年生約60名が田植えを行いました。

農業改良普及課は、市役所・地元集落営農法人と連携して、10年程前から小学校の総合学習の一環として水稻の栽培体験を支援しています。

当日は普及課の職員が苗の植え方について説明した後、小学生たちは裸足で水田に入り、実際に田植えを行いました。子供達は不慣れながらも一生懸命に苗を植え、周りに子供たちの賑やかな声が響き渡りました。

農業改良普及課では、今後もお米づくりの支援を行い、食農教育を推進します。

## あしずり黒潮米生育ばっちり！ ・・・JA高知県幡多地区三崎支所水稻部黒潮米部会・・・



6月13日、JA三崎支所黒潮米部会の現地検討会が開催され、栽培農家4名が参加して、各生産者のほ場5ヶ所を巡回しました。

農業改良普及課からは4～5月の気象と生育、幼穂の見方、出穂期、収穫期、病虫害防除指導を行いました。

各ほ場では、生産者同士で草丈、茎数、葉色、幼穂長等の生育状況の確認と情報交換が行われました。

農業改良普及課では、今後黒潮部会の米づくりの支援を行い、ブランド米の生産拡大を推進します。

## 地域資源を活かした魅力ある商品づくりに向けて・・・6次産業化セミナー実践コース・・・



6月15日、四万十市で6次産業化に取り組む事業者2組に対して6次産業化セミナー実践コースを開催しました。

農業改良普及課は、セミナー受講に伴うヒアリングを事前に実施し、事業者の事業概要について情報を整理しました。

当日は6次産業化の専門アドバイザー2名を招聘し、各事業者の製造現場での面談を通じて課題抽出や目標設定を行いました。

事業者からは既存商品の販路設定や新規商品の構想等について質問があり、アドバイザーとの活発な意見交換が行われました。

農業改良普及課では、今後もセミナー受講を通じた課題解決に向けて関係機関と連携しながら支援していきます。